富山県SDGs宣言

富山県ＪＡグループはＳＤＧｓの達成のため、以下について取り組むことを宣言します。

富山県ＪＡグループは、組合員の営農と生活を守り、食と農を基軸に地域に根ざした協同組合として基盤を強化し、持続可能な農業と、協同の力で豊かで暮らしやすい地域社会の実現をめざします。

No.	取組目標及び主な取組み	SDGsゴール
1	【目標】 ＪＡ地域農業戦略の策定・実践による農業者の所得増大と生産拡大をめざします。 【主な取組み】 ・水田フル活用に向け、非食用米や大麦・大豆の生産拡大、園芸品目の産地育成につとめます。 ・担い手経営体の多様なニーズに対応した総合事業提案を強化します。 ・地域を支える経済団体である林業、漁業、商工業の各団体と連携し、各々の強みを活かした商品開発や販路拡大に向けた取り組みを強化します。	
2	【目標】 アクティブメンバーシップ（組合員が積極的にＪＡ事業や活動に参加すること）の強化により、ＪＡへの「理解」、ＪＡ事業の「複合利用」、ＪＡへの「意志反映」、「運営参画」を促進します。 【主な取組み】 ・訪問活動やアンケート等の実施により正准組合員の意志にもとづいた組織・事業運営に取り組みます。 ・相続等の組合ニーズに対応できる体制を構築するとともに、相続等に関する専門知識を有する職員の育成をはかります。 ・ＪＡは、女性の組合員化を促進するとともに、女性のＪＡ運営への参画の機会増大に取り組みます。	
3	【目標】 ＪＡは、総合事業を通じて地域の生活インフラ機能の一翼を担い、地域の活性化に貢献します。 【主な取組み】 ・ＪＡは、支店、農産物直売所等を拠点として、総合事業を通じたサービス提供により、豊かで暮らしやすい地域社会の実現に貢献します。 ・ＪＡは、厚生連と連携し、健康増進活動や介護保険事業及び助け合い組織の活動を支援します。 ・ＪＡは、厚生・介護、生活・購買、信用・共済を中心に組合員の生活を支える事業を継続し、「組合員の拠り所」としての機能を発揮します。	

2022年 3月 10日

企業・団体名 富山県ＪＡグループ

代表者名 ＪＡ富山中央会　代表理事会長　伊藤　孝邦